

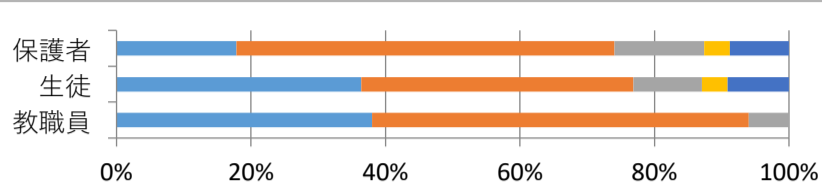
令和4年度 学校評価

■ そう思う ■ どちらかといえば、そう思う ■ どちらかといえば、そう思わない ■ そう思わない ■ わからない

①いのちを大切にできる心の教育の充実といじめや不登校への細やかな対応

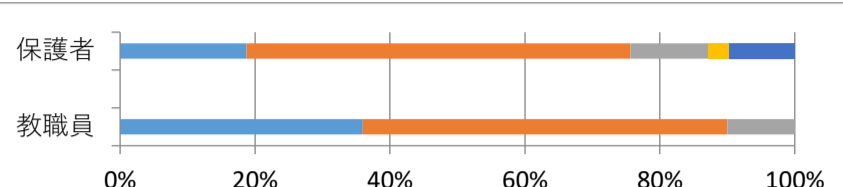
1 一人一人の児童生徒の尊重

学校は、一人一人の子どもを大切にされた指導や対応ができていますか。



2 道徳・心の教育の充実

学校は、豊かな人間性を育む心の充実に努めていると思いますか。(礼儀、生命尊重、思いやりなど)



<結果(R3からR4の変化)>

保護者：肯定的な意見は項目1が74%、項目2が76%であるが、2項目ともR3と比較して7%ほど減少した。

生徒：肯定的な意見は、項目1が76%であるが、R3と比較して9%ほど減少した。

教職員：肯定的な意見は、項目1が94%、項目2が90%でR3と変化ないが、そう思うの割合が、項目1ではR3の17%から38%へ、項目2ではR3の26%から36%と大きく伸びている。

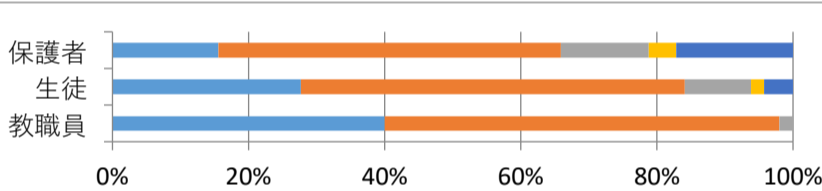
<考察>

保護者、生徒とも75%程肯定的な意見であるが、約8%ほど前年を下回ったが、職員の肯定度は大きく上昇している。教職員は、生徒のために勤務時間外にも問題行動や電話対応、さらに家庭訪問等を行っている、これ以上対応する時間を増やすことは難しいが、生徒、保護者が納得するような対応を模索していく必要がある。

②確かな学力の向上と社会の変化に対応した教育の推進

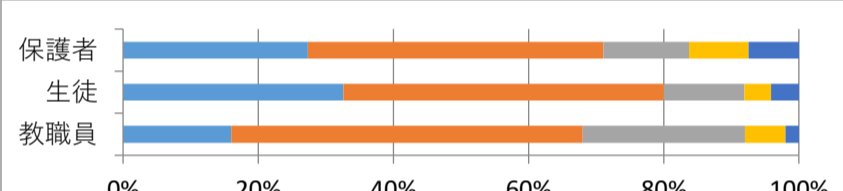
3 授業力向上

先生方は、わかる授業、楽しい授業づくりに努めていると思いますか。



4 タブレット端末活用

子どもは、タブレット端末を活用して学習していると思いますか。



<結果(R3からR4の変化)>

保護者：肯定的な意見は項目3が66%でR3から10%減少、項目4が71%でR3とほぼ変化がなかった。

生徒：肯定的な意見は、項目3が84%でR3から6%向上、項目4が80%でR3から6%ほど減少した。

教職員：肯定的な意見は、項目3が98%でR3と同じ、項目4が68%でR3から19%と大きく減少した。

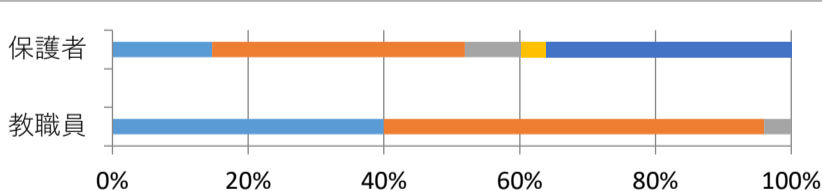
<考察>

今回、教職員の肯定的な意見が大きく下がったのがタブレットに関する結果である。学習のために使われるはずのタブレットが、学校の内外で本来の目的以外に使われ、多大な問題を引き起こしていることが原因であると思われる。

③教員が子どもと向き合うための体制の整備

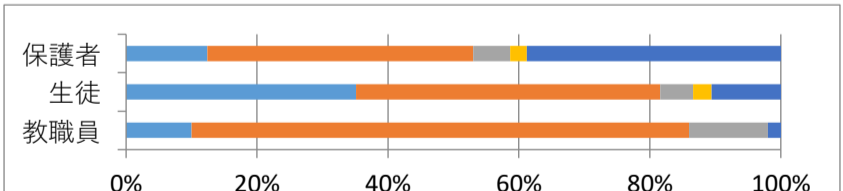
5 学校の支援体制

学校は、支援を必要とする子どもの教育について、共通理解を図りながら取り組んでいると思いますか。



6 共生社会を担う人材の育成

学校が行っている「交流及び共同学習」等は、相互理解につながっていると思いますか。



<結果(R3からR4の変化)>

保護者：肯定的な意見は項目5が52%、項目6が53%であった。R3と比べるとどちらも29%ほど減少した。

生徒：肯定的な意見は、項目6が81%でR3から6%ほど減少した。

教職員：肯定的な意見は、項目5が96%でR3から11%上昇、項目6が86%でR3から14%上昇した。

<考察>

教職員が肯定的にとらえている割合が増えたのに対して、保護者の評価が大きく減少している。支援が必要な生徒に関しては、授業者以外にも学級支援員や教育活動アシスタントにも協力を依頼しながら授業を行っているが、職員不足ということもあるためか、約半数の保護者が共通理解や相互理解にはつながっていないと判断された。その要因は何かを考えていく必要がある。

④学習に集中できる教育環境づくりと安全対策の推進

7 安全と事故防止	8 家庭や地域との連携協力
学校は、子どもの事故防止などの安全教育に取り組んでいると思いますか。	学校は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。

<結果(R3からR4の変化)>

保護者：肯定的な意見は項目7が78%でR3から8%減少、項目8が68%でR3とほぼ同じだった。

生徒：肯定的な意見は、項目7が81%でR3と比較して15%も大きく減少した。

教職員：肯定的な意見は、項目7が100%でR3から10%上昇、項目8が96%でR3から5%上昇した。

<考察>昨年まで項目7は「学校の施設・設備は、安全でよく整備・管理されていますか?」という設問だったため、単純に比較をすることはできない。項目8に関しては昨年とあまり変わらなかった。

来年度の具体的な取組について

①いのちを大切にできる心の教育の充実といじめ・不登校などへの細やかな対応のために

- ・生徒との関りを密にし、生活ノート・アンケート等により、生徒の変化やいじめ事象の早期発見に努める。
- ・ソーシャルスキルトレーニングのための「錦タイム」を軸として、生徒の対人関係の向上に努める。
- ・支援が必要な生徒には、クラスの生徒や保護者の理解を得て、情報を共有し、チームで対応する。
- ・SC・SSWと連携して、不登校の早期対応に努めるとともに、継続かつ丁寧な対応を心がける。

②確かな学力と社会の変化に対応した教育の推進のために

- ・タブレットを用いたわかりやすい授業改善に取り組むとともに、家庭学習での活用を促すとともに、タブレットの使い方について生徒へ、これまで以上に注意を促す。
- ・「授業づくりの5つ視点」を根底に据えた授業研究会をとおして、授業力の向上に努める。

③教員が子どもと向き合うための体制の整備のために

- ・保護者が感じたことが、そもそも情報共有ができていないということなのか、情報共有はできているがそれを生かした指導ができていないとことなのか、このアンケートでは推し量ることが難しいが、これまで同様、隔週で特別支援部会、毎週の主任会、生徒指導部会を行い、学年会や職員朝会等でも情報共有を行っていく。

④学習に集中できる教育環境づくりと安全対策の推進

- ・これまでも生徒指導だより等を通じて、安全教育の啓発は行ってきたが、配布するだけでなく、生徒と読み合わせをすることにより、安全教育の推進を図る。
- ・学期1回の避難訓練を充実させる。

学校関係者評価

①いのちを大切にできる心の教育の充実といじめや不登校への細やかな対応について

- ・先生方の肯定的な意見が94%の高さであり、生徒指導に力を入れておられることがうかがえる。先生方の行動で救われた生徒も多いと思います。特に思春期の生徒たちは家庭環境などさまざまな困難に苦しんでいる方がおられると思い、大切な役割を果たされていると思います。
- ・一人一人を大切に対応するには先生の力では限界がある。保護者、友人も一緒に取り組める環境づくりができるとうい。
- ・教職員の肯定的な意見の伸びに対して、保護者、生徒の現象の原因は、何なのでしょう？
- ・「これ以上対応する時間を増やすのは難しい」との考察があるが、いかがなものか。業務のスクラップアンドビルドに努め子どもとかかわる時間を増やすことが必要ではないか。

②確かな学力の向上と社会の変化に対応した教育の推進について

- ・先生方の意見では98%が肯定的な意見で、生徒達も84%が肯定しており、昨年度より向上している。先生方の熱心な取り組みがわかります。タブレットの不適切な使用については大きな課題だと思いますが、教育効果がさらに上がることを願っています。
- ・生徒の評価が上がってよかったと思う。そこに至るには、先生方の苦労がかなりあったのではないのでしょうか。
- ・タブレットの学習が学力向上に貢献できるかについて徹底的な研究が必要ではないか。

・タブレット導入に関する負の側面が増大しているなか、目的外使用の規制や対策は熊本市全体で検討すべき。

③教員が子どもと向き合うための体制の整備について

・支援の必要な生徒の困り感が減少するように、対応をお願いしたい。その時、同級生から支援があることで、お互いの理解が深まり、心を育てる教育になっていくと思います。

・学校は取り組みを強化されていますが、保護者の評価が下がっているのは設問がわかりにくいということも影響しているのではないのでしょうか。

・生徒、保護者とも肯定的な意見が減少したのは、時間的制約で相互理解ができていないとの分析である。教職員の努力が報われていない結果を反省材料とすべきではないのでしょうか。

・今まで以上に学校の取組を保護者にご理解いただくことが必要だと思います。そのことで、保護者の要望も把握できるかもしれません。

④学習に集中できる教育環境づくりと安全対策の推進について

・校門からは誰でも入ることができるので、学校の出入りのチェックが必要ではないのでしょうか。

・教職員の評価が上がっているのは、その分努力をされているからだと感じました。

・全体的に生徒保護者と教職員の意識に乖離があり、先生方の努力が理解されていないとの印象を受けました。

・先生方の努力が教職員の評価に現れています。学校からもっと保護者にアピールすることが大事ではないのでしょうか。

⑤その他

・先生方の仕事量が多く、時間外労働が長い報道を聞いて心が痛みます。このままでは子どもたちへの十分なかわりができなくなると思うので、国が教員を増員してくれることを願っています。幼稚園でも教員のなり手が少ないのが現状です。コロナのために授業参観ができず、卒業生がどんな態度で授業を受けているか知りたかったです。

・これから良い方向へ進んで行くものと感じられる、学校評価の結果でした。

・校長先生から「職員のチーム力は上がっている。いい雰囲気である」という言葉がありましたので、数年後に形になって現れてくるのではないかと考えています。

・問題の根本は、今の先生方が忙しすぎることだと思います。外部人材の活用も含めて本来の業務に専念できる体制が構築されることを望みます。